

環境調査結果のお知らせ

令和6年7月2日10時から野見湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が最高で10 cells/mL確認されました。当該プランクトンは100 cells/mLを超えると養殖魚をへい死させるおそれがあります。現在の野見湾の水温はシャットネラ属の増殖に適した水温であることから、今後当該プランクトンが増殖する可能性がありますので、十分注意してください。

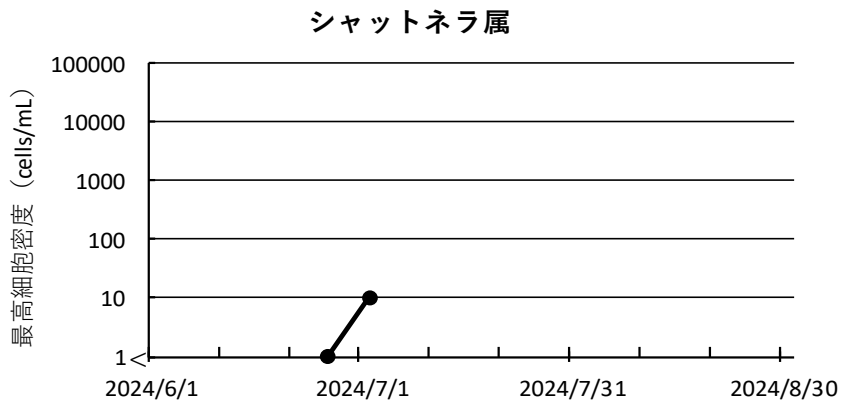
海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、よく洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	シャットネラ 属	珪藻
A ガラク (7.7m) 【10:42】	0	25.9	29.4	7.9	3	620
	2	24.4	32.1	7.5	10	480
	5	23.9	33.1	6.8	2	320
	10	23.9	33.1	6.7	5	100
	底層 14	23.4	33.7	6.9	-	-
B 勢井 (6.2m) 【10:54】	0	25.3	30.1	7.4	1	860
	2	24.6	31.4	7.2	8	550
	5	24.1	32.7	7.1	2	340
	10	23.6	33.5	6.6	1	160
	底層 18	23.0	33.9	6.1	-	-
C 馬の背 (5.4m) 【11:00】	0	25.2	30.1	8.2	0	800
	2	24.6	31.3	7.5	9	1,100
	5	24.0	33.0	6.7	0	220
	10	23.7	33.4	6.8	3	110
	底層 21.5	23.0	33.9	6.1	-	-
D 大室戸 (5.6m) 【10:32】	0	25.9	29.0	8.1	0	1,150
	2	24.7	31.2	7.5	1	1,250
	5	24.0	32.7	6.6	9	460
	10	23.6	33.4	6.4	0	40
	底層 18.5	23.1	33.9	6.7	-	-
E 湾奥ブイ (5.1m) 【10:23】	0	25.6	29.3	8.2	1	1,040
	2	24.6	31.3	7.9	1	1,350
	5	24.2	32.6	7.4	5	420
	10	23.6	33.5	6.1	0	350
	底層 15.5	23.2	33.8	6.2	-	-



- A: ガラク
- B: 勢井
- C: 馬の背
- D: 大室戸
- E: 湾奥ブイ

令和6年度 野見湾におけるシャットネラ属の最高細胞密度の推移



参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5～8月	6～8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2～4月	5～6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3～12月	4～8月	4～11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6～7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8～11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1～4月	3～5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2～7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。